

小児アレルギースキルアップコース2025

Pediatric Allergy Skill Up Course (PASCO)

症例で考える・ハンズオンでやる
小児アレルギーの基本を学ぶ2日間!

食物アレルギー アトピー性皮膚炎

気管支喘息

会期

2025年
9月13日(土)
14日(日)

会場

クロス・ウェーブ船橋

千葉県船橋市本町 2-9-3

対象

小児アレルギーに
関心のある
若手小児科医 50名程度
(卒後15年まで)

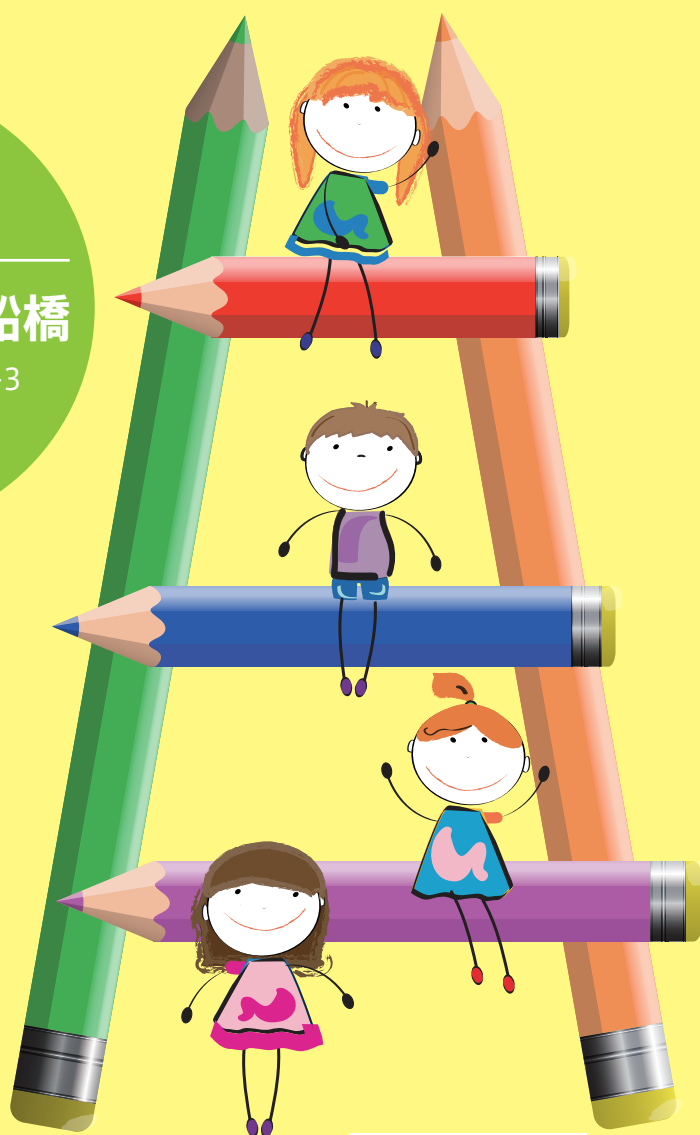
※申込多数の場合は抽選

参加費

宿泊・食事(夕・朝・昼食)込み

・日本小児アレルギー学会員:23,000円
(申込後の入会可)

・非会員:35,000円



応募締切: 2025年8月3日(日)

※申込者多数の場合は抽選となります。参加可否は8月下旬までにご連絡いたします。



主催: 一般社団法人日本小児アレルギー学会

この活動は、公益財団法人ニッポンハム食の未来財団の助成を受けています

<https://www.jspaci.jp/>

PASCO2025 明日から役立つ力、アクティブ・ラーニングで身につきます!

食物アレルギー
何を検査すればいい?
どう指導したらいい?

気管支喘息
入院したあとの管理は?
外来のフォローアップはどうする?

アトピー性皮膚炎
診断や重症度の評価は?
外用治療をどう指導する?

PASCOは小児アレルギー診療の基本を学ぶセミナーです。座学中心ではなく、症例を通じたグループディスカッションや、充実したハンズオンを中心とする実践的なプログラムです。食物アレルギー・気管支喘息・アトピー性皮膚炎の最新のプライマリ・ケアをアクティブ・ラーニングで学べます。

- アレルギー専門医（小児科医）チューター20名以上が指導！
- 日頃の診療で困っていること、気軽に相談できます！
- キャリアアップの相談もできます！

実践到達度
93%!!

2024年度 半年後アンケート

プログラム

1日目	13:30	受付開始	●食物アレルギー ☑症例を通じてリスク評価に必要な問診技術を身につけよう ☑特異的IgE抗体など検査結果の解釈を学ぼう ☑食物経口負荷試験を計画し上手に食べ始める指導をしよう ●気管支喘息 ☑症例を通じて重症度の評価や長期管理法を考えよう ☑吸入指導をやってみよう ☑呼吸機能検査を正しく実施する・理解するコツをつかもう ●アトピー性皮膚炎 ☑症例を通じて治療計画をたててみよう ☑外用薬の処方やスキンケア指導をやってみよう ☑アドヒアランス維持のコツを話し合ってみよう ◎ハンズオン ☑皮膚テスト、エピペンの使用方法 ☑スパイロメトリー、呼気NO濃度測定、吸入指導 ☑模擬人形をつかったEASIスコア評価、外用薬の塗布方法
	14:00	開会式	
	14:15~15:45	セッション1	
	16:00~17:00	スイーツセミナー	
	17:15~18:45	セッション2	
	19:30~21:00	症例検討会・意見交換会	
2日目	8:45~9:45	モーニングセミナー	共催 サノフィ株式会社, ヴィアトリス製薬合同会社, 鳥居薬品株式会社, チェスト株式会社, フクダ電子株式会社, 原田産業株式会社, 村中医療機器株式会社
	10:00~11:30	セッション3	
	11:45~12:45	ランチョンセミナー	
	13:00	閉会式	

◎ スイーツセミナー (サノフィ株式会社共催)

座長: 川本 典生 (岐阜大学大学院医学系研究科小児科学)

「小児アトピー性皮膚炎の病態と生物学的製剤の使用」 演者: 松井 照明 (あいち小児保健医療総合センターアレルギー科)

座長: 山崎 晃嗣 (市立貝塚病院小児科)

「年齢別にみるアトピー性皮膚炎の治療と管理—症例から学ぶ」 演者: 佐藤 未織 (国立成育医療研究センター アレルギーセンター)

◎ モーニングセミナー (ヴィアトリス製薬合同会社共催)

座長: 西本 創 (さいたま市民医療センター小児科)

「アナフィラキシーの適切な対応(仮)」 演者: 佐藤さくら (国立病院機構相模原病院臨床研究センター)

◎ ランチョンセミナー (鳥居薬品株式会社共催)

座長: 手塚純一郎 (福岡市立こども病院こどもアレルギーセンター)

「アトピー性皮膚炎の病態と非ステロイド外用薬の使い方(仮)」 演者: 竹村 豊 (近畿大学医学部小児科学)

「舌下免疫療法の基本(仮)」 演者: 長尾みづほ (国立病院機構三重病院臨床研究部)

【日本小児アレルギー学会 PASCOワーキンググループ (順不同)】

《PASCO WG委員長》 福家辰樹 (国立成育医療研究センター)

《PASCO2025実行委員長》 西本創 (さいたま市民医療センター)

伊藤靖典 (長野県立こども病院)、手塚純一郎 (福岡市立こども病院)、新垣洋平 (那覇市立病院)、高橋亨平 (国立病院機構相模原病院)、

松井照明 (あいち小児保健医療総合センター)、竹村豊 (近畿大学医学部小児科学)、佐藤未織 (国立成育医療研究センター)